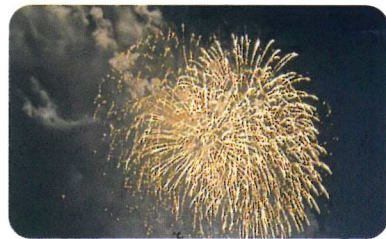


華

75
HANA

「華」75号
令和7年10月
発行



大迫力の辯天花火大会「真華苑」



ふじだな

ようやく秋を迎えましたが、今年も長く、暑い夏が続きました。地球誕生以来の環境大激動の永い歴史から考えますと、この程度の気候変動はささやかなものかもしれませんが、これまでの気候に慣れていた私達には、「焦熱の夏」を乗り越えられてほっとしたところではないでしょうか。

我が国の四季は冬と夏だけになりつつあるとも言われ、短いかもしれない秋を迎えて、文化的活動などでその貴重な季節を満喫して頂きたいと思います。

今年の慶徳会秋華祭・文化発表会は、7年ぶりにご利用者の舞台披露が予定されております。久々に、市民の皆様の前で日頃の練習の成果が発揮されますよう、心からご期待申し上げます。

一方、気候のみならず、社会情勢についても国の内外を問わず激動の時代が続いております。国民の価値観が変化する中で、国内政治は多党化が進み、安定的な政権運営が困難な時代になっております。

私達と致しましては、政治情勢の如何にかかわらず、超少子高齢時代に求められる福祉ニーズに応えるためにも、国民にとって安心の確かな政治が行われることを切望しております。

慶徳会

「介護職員初任者研修」を開講

慶徳会として第15回目となる「令和7年度介護職員初任者研修」の開講式を9月6日に行いました。

今回の受講者は、法人職員1名を含め計3名の「少数精鋭」による研修会ですが、「精鋭」に相応しく、ご自身のお仕事などで、非常にお忙しい中でありながら、とても熱心に聴講されています。

12月21日の修了式に向け、酷暑の季節から寒気が増していく時期まで4カ月にわたる全21日間の長い研修となりますが、全員が修了証書を受け取れるよう励んで頂きたいと願っています。



理事長から期待を込めて挨拶

緊張気味の受講生「前列の3名」

「実務者研修」修了式を挙行

令和7年4月5日に開講した「慶徳会実務者研修」は、レポート提出並びに6月から全9回にわたるスクーリングの全過程を修了した5人の受講生（うち、法人職員は2名）の皆さんがご出席のもと、9月28日（日）に修了式を執り行いました。

実務者研修は、所定の45時間の履修科目及び12時間の医療的ケア演習などハードルの高い研修ですが、一人の方が新型コロナウイルスによる欠席の補講履修があったこと以外、皆さんが全過程を履修され、半年間に及ぶ厳しかった研修を全うし、晴れやかな面持ちで、理事長から修了証明書を受け取られていました。

5人全員が、「3年以上の実務経験があり、かつ実務者研修を修了していること」の要件に該当するため、令和8年1月25日（日）実施予定の第38回介護福祉士国家試験の合格を目指し、強い意気込みをお話になっていました。

なお、このたびの試験から、採点科目を3パートに区分し、合格したパートの科目については、以後の再受験の際、受験が免除されることとなり、採点と受験のルールが改正されました。



編集 慶徳会 広報室
〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29
電話 072-665-5167
FAX 072-665-5166

社会福祉法人 慶徳会のホームページ

<https://www.keitokukai.or.jp>





きもだめし大会

西河原多世代交流センターでは、令和7年8月2日（土）、恒例の「きもだめし大会」を開催し、子どもの家の子ども達9名を含め、107名が参加しました。

このイベントは、以前は関係者のご協力のもと、地元の家「新屋坐天照御魂」にいやにますあまてる（みたま）神社」で開催しておりました。

コロナ禍での中断を経て、再開を検討しましたが、周辺の地理的条件などから、同神社での開催が困難となり、熟慮の結果、センター館内を神社に見立てた上での開催に変更し、今回で3回目となりました。

開催にあたって、西河原でのイベントには欠くことができないシニアのボランティアの方々に加え、追手門大学で子育てしやすい地域づくりを目的に活動されている「追大パーク」の皆様にも協力して頂けることになりました。

「追大パーク」の皆様には、例年に勝る本格的な肝試しの体験ができるように、シニアの皆さんとともに、会場設営や運営に工夫を加えて頂きました。

また、引き続き三島小学校からも装飾や仕掛けをお借りし、肝試しの雰囲気さらに盛り上げることができました。

当日、参加した子ども達には、受付で神社についての説明を書いたカードを渡し、「祀られている3神（天照御魂神、春日大明神、稲荷大明神）

しみず

夏のお楽しみ会

令和7年8月14日に、しみずの生活介護で「夏のお楽しみ会」を開催しました。

この日のために、創作活動の時間に提灯やお祭り飾りを作り、お祭り気分が味わえるよう部屋全体に飾りつけをしました。

お楽しみ会当日を迎え、皆さんワクワクした様子で、午前はグループごとに各出店コーナーを回りました。

「輪投げ」は、いつもの「的棒」とは違い、段差に並べられた沢山の縫いぐるみや玩具を真剣に品定めをしながら、慎重に挑戦していました。

また、「千本引き」では、大中小のお菓子を景品にして、何を引き当てるだろうか皆さんドキドキハラハラな様子で紐を引き、大きなお菓子が当たると「やった！」と歓声が上がり、周りからも「おめでとう！」と拍手を浴びていました。

茶話会のメニュー



スイカやバナナ、餡子のトッピングで豪華なかき氷



「お楽しみ会」をエンジョイするご利用者

バリエーションいっぱいの輪投げの的



「玉入れ」では、的にそのまま投げ入れたり、バウンドさせたりと様々な投げ方で楽しみました。

午後からは、お待ちかねの茶話会の始まりです。緑日風に並んだ屋台で引き換えチケットを手に、フランクフルトやかき氷、飲み物を注文、中でも一番の人気は季節柄かき氷！餡子やスイカそしてバナナのトッピングがあり、とても豪華なかき氷でした。

「千本引き」で当たったお菓子も一緒に、皆さん心もお腹も満たされ、とても良い表情のひと時を送ることができました。

連日、酷暑が続く中、ご利用者、職員ともども「オアシス」を感じるような一日でした。



会場内で見つけ出し、「神様」それぞれからシールを頂いてくる」という体験です。

ドキドキとワクワクを抱えながら集まった子ども達も順に恐る恐る進み出したところ、物陰に隠れていた「おばけ」に扮した追大パークの皆さんが、急に飛び出して来るので恐怖に震える悲鳴が館内に鳴り響きました。

スタッフに「少しやりすぎたかな」という、懸念がありましたが、スリル感を満喫した子ども達には大好評で、「来年も今年以上の肝だめしに取り組もう」と、気分は次期の構想に期待を膨らませています。

地域の方々のご協力が実を結んだ素晴らしい雰囲気の中、楽しい時間をお過ごし頂くことができ、また、このようなイベントを通じて、センターと地域との連携がさらに深まり、ご利用者間の親睦と事業所スタッフとの絆を強化することができました。今後とも地域とともに季節を感じる行事を企画してまいります。

雨模様下の花火鑑賞

辯天 花火大会



「光華苑」「春菊苑」（屋上）



「真華苑」（玄関前）

真華苑、光華苑・春菊苑（光春）では令和7年8月8日開催の「辯天花火大会鑑賞会」を開きました。

当日は、あいにく小雨がぱらつき、開催が危ぶまれましたが幸いに開始直前に止まりましたので、真華苑では、玄関前に、光春では、屋上に

椅子を準備し、皆さんで、花火を楽しみました。待ちに待った花火が打ち上げられると、真華苑では、ご利用者から「わあー」「きれいー！」という歓声とともに思わず拍手が起こりました。

小高い丘の上に建設された苑から見物する花火は、打ち上げの場所まで遮るものがないので、夜空一面に広がるイベントを堪能することができます。

一方、光春では、その立地と、建物の構造からベストポジションで花火を鑑賞できます。

屋上から面前の西中学校の上に打ち上る花火が正面から大迫力で迫ってきます。

開催が近づくと「今年も花火大会やるの？」と質問攻めに合うなど皆さん大変楽しみになさっています。いよいよ開始時刻になり、「ドーン」と景気良く打ち上がると、拍手喝采でスタートしました。花火が開くたびに歓声が上がリ、手を叩いて喜ばれていました。

残念ながら、開始から一時間経って再び、雨が降り出し、その後は建物内での鑑賞となりました。

それでも参加されたご利用者からは「よかった」「きれいだった」「すごかった」と喜びの声を頂き職員一同ほっとしています。

少々物足りない感がありましたが、うだるような暑さが続く中で、「雨模様下での花火」は少し涼味を感じる思い出として心に残りました。

夜空に広がる夏の芸術を感じと興奮の中で満喫して頂けるよう、今後も企画してまいります。

「敬老の日」に花束贈呈

令和7年9月15日、「敬老の日」のお祝いに、子どもの家の子も達から高齢者事業所のご利用者の方々へ花束贈呈をさせて頂きました。
コロナ禍以降、直接顔を合わせることは避け、ダンスの動画とお花をプレゼントする形で行ってききましたが、今年は、6年ぶりに対面での花束贈呈になりました。

子ども達の中には、初めて訪問する子もあり、緊張している様子が伺えましたが、恥ずかしがりながらも自己紹介をし、「今日はお花を持ってきました！これからも元気で長生きしてね！」と笑顔でお花を渡しました。ご利用者の方々からも「ありがとう。本当に嬉しいです」と応えて頂き、互いに笑顔が溢れました。

子ども達にとって、お年寄りの皆さんとの交流はとても貴重な機会になりました。

ご利用者の皆さんには、これからもお体を大切にされ、いつまでもお元気で、心豊かに生活を送られますよう、子どもの家一同心から願っております。

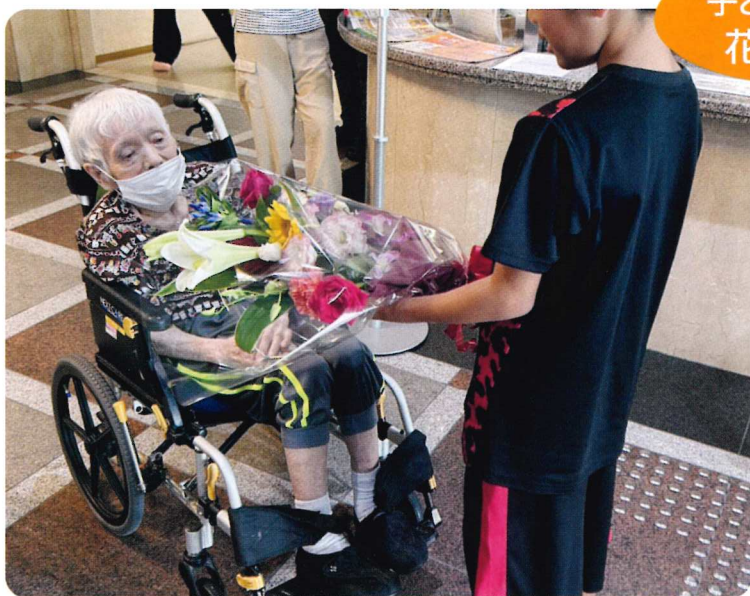


「光華苑」



「春菊苑」

子ども達から花束贈呈



「常清の里」



「真華苑」



敬老お祝い会

常清の里では、令和7年9月15日の敬老の日、「敬老お祝い会」を開催しました。

開催に先立ち、当日のお食事メニューについて、アンケートを実施させて頂きましたところ、「秋の味覚」についての希望が多数寄せられましたので、栗と茸の炊き込みご飯や松茸の吸い物など、季節感あふれる献立をご用意し、皆さんには、ご満足頂ける食事を楽しんで頂きました。

お祝いに、「子どもの家」の子も達からお祝いの花束が届けられ、ご夫妻で入居されているご利用者の奥様に代表で花束を受け取って頂きました。コロナ禍により、訪問を控えていた子ども達の6年ぶりの訪れに、ご利用者からは自然と笑みがこぼれ、温かな雰囲気になりました。

また、お祝いの催しとして、職員が企画していた音楽会に、ボランティア「そんぐ亭」様をお招きしました。

楽曲のレパートリーの中から、ご利用者に人気のある曲を演奏して頂き、キーボードの伴奏に合わせて昭和の懐かしい歌などをご利用者や職員も一緒になって歌い、会場は一体感に満ちた楽しい時間となりました。

今年は、夏の暑さが続く中での敬老会でしたが、食事や音楽、子ども達との交流を通じて、ご利用者の皆さんに、笑顔と元気を届けることができたひと時でした。

地蔵盆会・なつまつり

子どもの家

令和7年8月24日に、慶昌堂で子どもの家の子も達を中心に、理事長と各事業所の施設長が参加し、舟木康二施設長の導師により、恒例の地蔵盆会のお勤めを致しました。

猛暑が続く中、子ども達が浴衣姿で涼やかな夏らしい雰囲気の中でお参りし、「地蔵街道」を巡りながら日々の安全や幸せをお地蔵さんに祈願致しました。



舟木導師からのお話



浴衣姿でお参りする子ども達

浴衣でハイチーズ！



いつも大人気の「シールくじ」



初登場の「宝探しコーナー」



とても美味しかった屋台のメニュー♡

お参りの後は、園での「子どもの家なつまつり」です！子ども達は浴衣や甚平を身に纏い、目一杯おしゃべりをしての参加！館内は華やかな雰囲気に包まれました！
今年も屋台やゲームコーナーが軒を連ねます。屋台での人気は、今年初登場の「肉巻きおにぎり棒」！甘辛くて食べやすく、子ども達にも職員にも大人気でした！

ゲームコーナーでは、「射的」や「人形すくい」などの定番は勿論のこと、今年初めて「宝探し」コーナーが仲間入り☆きらきら光る宝の石を一生懸命探し出し、ゲットしていました！

また、『子ども「わいわい」ネットワーク茨木』と『ロードカー』の皆さんに、ブースを開いて頂き、より一層賑わいました。

「子どもの家なつまつり」も、今年で4回目となりました。「お客さん」の幼児さんや小学生は勿論のこと、お手伝役の中高生、そして職員達にもたくさん笑顔が溢れる一日となり、夏休み最後の思い出として、素敵な一日を過ごすことができました。

皆で「人形すくい」☆



ハラスメント対策研修

令和7年7月23日、講師に明倫国際法律事務所代表 弁護士 田中雅敏先生をお招きし、理事長を初め副主任以上の職員24名が参加し、本部研修室で法人「ハラスメント対策研修」を開催しました。

研修は講義とグループワークの二部構成で行い、第一部の講義は「組織を元気にして生産性を上げるための『パワハラ』への向き合い方」というテーマで、「パワハラを防ぐこと」の目的や正しい理解、そして、指導とパワハラの区分等についてお話を頂きました。

パワハラを防ぐ目的については、組織やチームのメンバーの積極的な業務への取り組みと意欲を引き出し、それぞれが前向きで、主体的に課題解決や業務に関わることで、「チームとしての相乗効果」が得られ、その結果、上司が部下の業務や言動の細部にまで指示（マイクロマネジメント）せずとも、メンバーが共有する「共通のゴール」のために団結して行動を起こせる、生産性の高い職場を作ることであると説明がありました。

また、指導とパワハラの区別については、指導は、人材活用の視点から、業務上の失態等を再発防止するとともに、部下のスキルや人間性の成長を念頭に入れ、組織共通の目的達成のために何が最適かを理性的に考えて行うことにより、「チームが持つ力の最大限の発揮」に狙いがあるのに対し、パワ

ハラは、組織共通の目的達成に合理的な関連性がなく行われ、「怒り」や「嫌い」などの感情をぶつける手段として行われるものであると説明がありました。

参加した多くの職員から「パワハラを防ぐ目的は何なのか、また、組織としてどのように対応していくか等具体的な事例を用いて説明して頂いたのが理解が深まった」との感想が寄せられました。

第二部では、正副施設長級の職員がグループワーク形式で、職場におけるシチュエーションを想定し、どのように対応すべきかを話し合いました。

話し合いの中で、「感情的にならず冷静・客観的に判断・対応すること」「職員の育成とともに、常に組織の生産性の向上等を念頭に入れた視点を持つことが重要である」等の意見が出されました。

講師からは、特に、指導とパワハラの区分を十分に意識し、過度のマイクロマネジメントに陥らない対応が肝要であると、ご助言を頂きました。

今後は、一般職員を対象とすることも含め、定期的に研修等を実施し、職場環境の向上に努めてまいります。



グループに分かれて
実技講習



消防士のお手本に見入る
参加者

救命・救急講習会

職員互助会

令和7年7月17日に、職員互助会主催で「救命・救急講習会」を本部研修室で開催し、職員14名が参加しました。

茨木市消防署下穂積分署4名の方から、「心肺蘇生法・AEDの使用法」について人形を救急・救命対象者に見立てて、90分間レクチャーを受け、参加者全員が真剣に取り組みました。参加経験職員も時間が経つと、生死を分ける心肺蘇生法の手順やAEDの使用方法が心もとなくなる場合もあり、改めて大切な講習会であると思いを新たにしました。

また、この機会に各事業所での緊急時の対応について情報交換を行っている姿も見られました。講習会後もなく、心肺蘇生法を実践することになった事業所があり、研修を受講していただに良かったと実感しています。

学んだ内容を持ち帰り、各事業所とも伝達研修の実施を徹底することも大切です。

職員互助会として、今後も職員のスキルアップに繋がる有意義な研修を企画してまいります。

挨拶する理事長



職員互助会

総会・新任職員激励会

令和7年度の「慶徳会職員互助会総会・新任職員激励会」を5月30日（金）に、昨年に引き続き「ホテルアバーストグランド高槻」で、会員118名の参加を得て開催しました。

堤 俊輔会長の会員への感謝の挨拶に始まり、舟木康二議長の進行のもと、同6年度事業報告・決算を承認後、互助会の新しいスタッフとして、家永竜平（子どもの家）新会長を初め新役員が選任され、年間行事・予算等の議事について滞りなく承認されました。

皆が楽しみにしていた新任職員激励会が始まると会場の雰囲気是和らぎ、ホテルで自慢のメニューに一同舌鼓を打ち、コロナ禍以来事業所間交流が控えめとなっていた中、貴重な機会を得て、会話も弾み親睦が深まりました。

新任職員・新会員紹介プログラムの場では、緊張しながらも力強く決意を表明し、また、ユニモア溢れるスピーチが行われる中で、新しいメンバーを迎えた期待とともに、職員全体に一体感が広まり温かな雰囲気を醸成しました。

皆さんの協力により、歴史のある互助会行事を大盛況で終えることができました。今後も会員の福利厚生の実現、そして法人の発展に寄与できるよう、努めてまいります。



力強い新任会員の挨拶



新任役員が勢揃い



和気あいあいの
激励会

